

資料 4. 温室効果ガス排出量算定方法

この算定方法は、本編 6 頁の温室効果ガス排出量(実績)の算定方法です。
 本編44頁の推計及び45頁の目標値の温室効果ガス排出量の算定方法は、本編記載のとおりです。

単位:t-CO₂/年

項目	対象品目										合計
	燃やすごみ	ビン・カン	紙類・布類	植木選定材	ペットボトル	容プラ	不燃・危険	廃食油	木くず	布団・畳	
収集運搬	135.4	93.1	108.0	42.0	33.5	46.0	7.7		—	—	465.8
中間処理	13,027.5	123.1	138.9	69.8	8.0	33.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13,401.0
合計	13,163.0	216.2	247.0	111.8	41.5	79.8	7.7		0.0	0.0	13,866.9

※「鎌倉市の最適な資源化のあり方について(平成26年5月)」における算定方法を参考として推計しています。

※算定範囲は、委託及び直営による収集運搬分、各対象品目の中間処理分(民間委託分含む)、焼却残渣の溶融固化処理分としています。

※表中の数値は、CO₂(二酸化炭素)、CH₄(メタン)、N₂O(亜酸化窒素)、HFC(フロン)の排出量を二酸化炭素換算し、合計した数値です。

※木くず、布団・畳は、直接搬入のため収集運搬は考慮しないこととします。

※不燃・危険、廃食油の収集運搬分は、同時収集のため合算しています。

